

本時の授業の工夫点	・クイズやゲームなどの活動を通して、人と楽しく関わる喜びを十分に味わわせるとともに、言葉への興味関心を高める。
-----------	---

1 題材名 聞いて 話して 楽しく遊ぼう

2 題材の目標

(1) やり方やルールを理解して友達と楽しく活動することができる。

【3－(4)】

(2) 相手に分かるようにはっきり話をしたり、話を聞いて分からないことを質問したりできる。

【6－(2)(5)】

(3) 落ち着いて自分の気持ちを伝えることができる。

【2－(1)】

3 題材について

(1) 題材観

本題材の重点指導事項は、特別支援学校学級指導要領の自立活動の内容「3 人間関係の形成」の「(4) 集団への参加の基礎に関すること」、「6 コミュニケーション」の「(2) 言語の受容と表出に関すること」「(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること」である。また、「2 心理的安定」の「(1) 情緒の安定に関すること」にも密接な関連があり、それらを相互に関連付けて設定した。言葉遊びを通して、日常生活に必要な語彙を増やして言葉のイメージを広げ、発想力を育てたり、相手に注目して聞いたり、相手に分かるように話したりするなどのコミュニケーションの基礎となる力を伸ばしていくことをねらいとしている。「相手に分かるように話す」「相手を見て聞く」という「話す」「聞く」を中心としたコミュニケーションの基礎的な能力の育成を図っていく。

(2) 児童の実態と個別目標

	児童の実態	題材における目標
A児	・集団生活では、話をしたり、発表をしたりすることが苦手である。 ・困ったことがあっても人に伝えられないところがある。	・友達と協力して楽しく活動することができる。【3－(4)】 ・分からないことを質問することができる。【6－(5)】
B児	・初めてのことに不安を感じる。 ・集団での活動に参加することが難しいところがある。	・ルールを知り、友達と協力して楽しく活動できる。【2－(1) 3－(4)】 ・相手を見て、相手が分かるようにはっきりと話をしたり、聞いたりすることができる。【6－(2)】

(3) 指導観

指導に当たっては、児童の苦手さやつまづきを考えて「正しく発音しよう」「早口言葉」「なぞなぞ」「ワンヒント・スリーヒント」などの言葉遊びや、「バランス棒」「ボーリングゲーム」などの身体を使ったゲームを、主な学習活動として組み立てた。「ワンヒント・スリーヒント」ゲームでは、ゲームをする中で、自分で質問を考えて相手に話すことができるようにさせたい。相手の顔を見て、自分の考えをはっきり分かりやすく話すことができるようにさせたい。また、二人で活動することによって、仲良く楽しく活動するには、友達を意識し、相手の気持ちを考えて言葉かけをすること、簡単なルールを守り、準備や片付けを協力して一緒に行うことなどが大切であることに気付かせたい。

4 題材の指導計画（8時間扱い）

月	時	学習内容・活動			評価方法・留意点等	
		言葉	話す・聞く	協力ゲーム	A児	B児
9	1	・言葉や文章を正しく発音する。	・ワンヒントゲームをする。	・バランス棒ゲームをする。	・拗音が入った言葉に気を付けて読むことができる。【観察】	・拗音が入った言葉に気を付けて読むことができる。【観察】
	2					
	3	・早口言葉を言う。	・スリーヒントゲームをする。	・ゴムゴム UFO キャッチャーをする。	・分からないことをはっきり質問することができる。【観察・発言】	・相手を見ながら分かりやすく話をしたり聞いたりすることができる。【観察・発言】
	④					
	本時					
	5				・友達と協力して楽しく活動することができる。【観察】	・ルールを理解して、友達と協力して楽しく活動できる。【観察】
	6					
	7	・なぞなぞをする。	・スリーヒントゲームをする。	・ボーリングゲームをする。	・苦手な活動でも、友達のことを考えて、あきらめずに取り組むことができる。【発言】	・友達に自分の思いや励ましの言葉を言いながら、協力してゲームに参加できる。【観察】
	8					

5 本時の学習

（1）目標

個人目標	A児	・分からないことをはっきり質問することができる。【6－（5）】 ・友達と協力して、楽しく活動することができる。【3－（4）】
	B児	・相手を見ながら分かりやすく話をしたり聞いたりすることができる。【6－（2）】 ・ルールを理解して、友達と協力して楽しく活動することができる。【3－（4）】

（2）準備・資料

- ・早口言葉の掲示物 ・掲示資料「学習内容」「声のものさし」「よい姿勢」 ・ワークシート
- ・絵カード ・ゴムゴムUFOキャッチャーセット ・感想カード ・タイマー

（3）展開

主な学習活動		個に応じた具体的な指導（◆工夫点 ◎評価）	
		A児	B児
見通す 8分	1 はじめのあいさつをする。	・前を向いてよい姿勢であいさつができたなら称賛して、意欲を高めるようにする。	
	2 本時の学習内容を知り、自分の目標をもつ。	・活動内容をカードに書いて掲示し、学習内容をみんなで読み上げることで、学習内容を確認し、見通しがもてるようにする。 ・本時の課題を知った後、自分が頑張ることはどんなことか、目標を考えるように促し、黒板に掲示する。	
	聞いて話して楽しくあそぼう。	・本人と相談し、例えば「分からないことをはっきりと質問する。」等のめあてを立てる。	
	① 早口言葉 ② スリーヒントゲーム ③ UFOキャッチャーゲーム	・本人と相談し、例えば「相手を見て話したり聞いたりする。」等のめあてを立てる。	
		◆クイズやゲームの名前を伝えることにより、活動への意欲を高める。	

活動する 29分	3 早口言葉を音読する。 (1) 拗音練習 (2) 一人で読む。 (3) 二人で読む。	・ ゆっくりはっきり発音して読めるように声をかける。	・ 失敗しても「まあっ、いいか。」の気持ちで楽しく取り組むことを助言する。
	4 スリーヒントゲームをする。 (1) やり方を説明する。 (2) 出題者は問題を書き問題を出す。 (3) 回答者は質問をする。 (4) 出題者は質問に答える。 (5) 回答者は答えを発表する。	・ 二人で一緒に読むときには、声を合わせてタイミングよく読んだり、相手を意識して声をそろえて読んだりできるように声をかける。 ・ 「声のものさし」を使って、その場に応じた大きさで発表できるように助言する。また、たくさん質問して語彙を増やすように支援する。 ◎分からないことをはっきりと質問することができる。 【観察・発言】	・ 相手を見て、はっきり話するように助言する。 ・ 言葉に詰まった時には、アドバイスをして手助けする。 ◎相手を見ながら分かりやすく話をしたり聞いたりすることができる。 【観察・発言】
	5 UFOキャッチャーゲームをする。 (1) 準備をする。 (2) ルールとゲームのやり方を確かめる。 (3) ゲームをする。 (4) 時間を計る。 (5) 結果発表を聞く。 (6) 後片付けをする	・ 準備や片付けを二人でできるように声をかけ、ゲーム以外の場面でも協力することを意識付ける。 ・ 二人で息を合わせて運ぶように励ます。 ・ 積み重ねる位置にも気を付けるようにアドバイスする。 ・ うまく作業ができないときには、ゴムの引き方や戻し方について助言する。 ◎友達と協力して楽しく活動することができる。 【観察】 【目標を達成した児童の姿】 分からないことをはっきりと言葉で質問している。 友達と協力して、楽しそうに活動している。	・ 相手を見て、はっきり話するように助言する。 ・ 言葉を詰まった時には、アドバイスをして手助けする。 ◎相手を見ながら分かりやすく話をしたり聞いたりすることができる。 【観察・発言】 ◎ルールを理解して、友達と協力して楽しく活動できる。 【観察】 【目標を達成した児童の姿】 相手が理解しているか確認しながら話をしたり、聞いたりしている。 ルールややり方が分かり、友達と関わり楽しんで活動している。
	振り返る 8分	本時の学習を振り返る。 (1) 自分のめあての振り返りをする。 (2) 感想を発表する。 (3) 次時の学習について知る。	・ 感想では、どんなところが楽しかったのか、大変だったのか、理由まで書くようにする。 ・ 何を書いたらよいのか戸惑っているときには、質問して聴き取り、それを文にするように手助けをする。 ・ 書くことに戸惑うときには、言葉で聴き取って、それを文にする手助けをする。 ・ 児童の頑張りやよいところを認め、大いに称賛し、次時の意欲につなげる。